

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連
江南厚生病院

Vol.44
2019.1

INDEX

コラム

① 新年のごあいさつ

② 免疫チェックポイント阻害薬

③ ドクターカーについて

トピックス

認知症サポーター養成講座
食育ワークショップを終えて
看護とは～一生のシゴト～
これからの看護の担い手を育てる

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

看護学生インターンシップのご案内
看護師・助産師募集のお知らせ
がんサロン「にじの会」のご案内
公開医療福祉講座
保険証の確認について
面会時間のご案内
診療日カレンダー

病院理念

- － 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- － 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- － 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します



新年のごあいさつ

江南厚生病院 院長 齊藤 二三夫



新年あけましておめでとうございます。江南厚生病院は、尾張北部医療圏の北部地域（江南、扶桑、大口、犬山、岩倉）の皆様が、この地域で高度先進医療を受けることができるよう、平成20年5月に愛北病院と昭和病院が統合し、尾北地域最大規模の病院として新規開院しました。地域の皆様の温かいご支援により、今年で11年目を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。

昨年4月に長年のがん診療実績により「愛知県がん診療拠点病院」の指定を受けました。7月からは最新型放射線治療機器「トモセラピーRadixact」による治療も開始しており、今後もこの地域におけるがん診療の連携・支援を推進するための拠点病院として、役割を果たしてまいります。

また、当院は各種センター機能により専門特化した医療を行ってきましたが、これからも更なる診療機能の充実を図ってまいります。昨年10月には血管撮影装置2台を最新型に、12月に透析センターの透析装置50台を患者さんの負担の少ないタイプに更新しました。一方、救急医療においては、現在3市2町における救急搬送の7割以上が当院に搬送されており、平成30年4月から10月までの搬送件数が4,340件（平成29年度7,057件）と昨年度を上回ることが予想されます。開院以来、断らない救急医療を基本としていますが、毎年の患者数の増加に対応するために、本年は救急外来の拡張増設工事を行う予定です。今後数年間は、開院時に導入した医療機器の更新はもちろんですが、最新医療機器を積極的に導入するとともに、施設、設備も充実させていくことで診療能力の向上に努めていきます。

将来的にも世界に類を見ない高齢化に備え、これからは患者さんやご家族の希望を尊重した医療を行えるよう、人生の最終段階に向けた意思決定支援を行える人材育成にも力を入れていきます。また、国の方針である病院完結型の医療から地域完結型の医療への転換に従い、近隣医療機関との連携を深め、退院支援の必要な患者さんには入院時より開始して切れ目のない医療を行っていくとともに、在宅で医療を受けられている患者さんの急変時の対応など24時間365日断らない医療を地域の基幹病院として担ってまいります。これからも職員一同気を引き締めて安心・安全な診療を行い、病気で不安状態の患者さんが少しでも安らげるような病院として、ホスピタリティーの向上も図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



免疫反応のブレーキを 解除することによるがん治療法 「免疫チェックポイント阻害薬」



医薬情報課長 富田 敦和

体内で異物を攻撃する免疫反応にブレーキをかけるタンパク質を突き止め、がん免疫治療薬の開発に尽力した本庶佑さんの2018年ノーベル医学生理学賞受賞のニュースをご存知の方も多いと思います。今回は、話題の「免疫チェックポイント阻害薬」についてご紹介させていただきます。

ウイルスや細菌などの異物に対する防御反応である免疫は、がん細胞に対しても働きかけ、攻撃します。最近の研究では、がん細胞が増殖するために、免疫の一員であるT細胞と結合して攻撃のブレーキをかける信号を送ることがわかってきました。それにより、免疫の働きにブレーキがかかり、がん細胞への攻撃ができなくなります。免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞とT細胞の結合を阻害することで、免疫の働きにブレーキがかからないようにし、T細胞ががん細胞を攻撃できるようにします。従来のがん治療とは異なる免疫チェックポイント阻害薬によるがん免疫療法は、手術や放射線、化学療法(抗がん剤治療)に続く第4の治療法として期待されています。

期待が寄せられる免疫チェックポイント阻害薬ですが、すべての患者さんではなく、一定の割合の患者さんに効果があることがわかってきました。現在、どのような患者さんに効果が期待できるのか、研究が進められています。また、免疫が働きすぎることによる副作用があらわれる可能性があります。当院では、より安全に免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けていただけるよう、医師・看護師・薬剤師が協力して免疫に関連する副作用等の早期発見に努めています。気になること、お困りのことがありましたら、医師・看護師・薬剤師にご相談ください。

ドクターカーについて

ドクターカーとは、医師・救急救命士が車に乗り込み、重篤で早期に治療が必要な患者さんの元(自宅、事故現場等)まで公道を緊急走行して向かうドクターヘリの車版です。いち早く初期治療を開始し、救命率向上・後遺症の軽減を目的に、全国で救命救急センターを中心に整備が進められております。

当院でも、今年度ドクターカーの整備を行い、平日9時から17時の間で江南市内において出動します。

尚、ドクターカーの出動要請は、消防機関が医師による早期治療開始が必要と判断した場合に限られ、患者さんが直接出動要請することはできません。また当院のドクターカーは、医師を現場に送り込むことを目的としており、病院への搬送は消防機関の救急車が行います。

最後に、病院の近隣にお住いの方にはドクターカー出動に伴う騒音等でご迷惑をおかけすることがありますが、ご理解とご協力をお願いします。



一般向け認知症サポーター養成講座を開催しました

11月9日（金）当院にて「一般向け認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の方を介護している方や認知症に関心がある方など37名が参加されました。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

今回の講座では「認知症という病気」「認知症の方の理解」「家族の心理」などのほか、認知症予防として体操（コグニサイズ）も実施しました。

講座後には参加者同士で感想を話し合い、「もっと早く知っていたらよかった」「今日の話聞いて少し前向きになれた」「大切な人が認知症になっても今後支えていきたい」など、様々な意見が出て盛り上がりました。

認知症は誰がなっても不思議ではない、身近な病気です。自分や自分の大切な人が認知症になっても、今のまま安心して暮らしていける、そんな地域にできるよう、あなたも認知症サポーターになってみませんか？



認知症サポーター養成講座は各市町で実施しておりますので、ご関心のある方はお住まいの市町役場までお問い合わせください。 江南中部地域包括支援センター

食育ワークショップを終えて

9月1日（土）江南市民文化会館において、江南厚生病院主催の「第七回食育を考えるワークショップ・江南」が開催されました。第1部の「地域における食育活動報告」では、当院が2011年1月より提供している、発熱児が食べ易いように料理を工夫した献立『小児熱発食』についての報告を行いました。その他、渥美病院栄養科より地元JA愛知みなみとの協力で行われている地産地消の取り組みについての報告、続いてJA愛知北宮農生活部より地元で生産されている野菜の紹介や農業体験・親子料理教室の食農教育活動報告がありました。

第2部の特別講演では、メディアでもご活躍のこばたてるみ先生(株式会社しよくスポーツ代表取締役)に「アスリートにみる食の秘密」と題してご講演いただきました。

「私たちの体は食べものからできており、学力・仕事力・競技力を向上させるには食事が大切である。スポーツ選手が強くなるには『選食力』を養うことが必要であり、持久力、筋力・瞬発力、回復力を向上させるには、その目的に合わせた食事が重要である」「過剰なダイエットやサプリメントによる強制的な栄養強化は注意が必要」などお話しいただき、トップアスリートは食事管理をしっかりと行っていることを学ぶとともに、あらためて食生活の大切さを再認識する良い機会となりました。



院内コンサート Concert

毎月1回、13:30～ 2階の講堂で色々なジャンルのイベントを開催しています。入場無料ですので、お時間がある方は是非お越しください。

ママバンド LINKS

コーナンフイラインコール

菊八重会 (大正琴)

9月19日
(水)



10月17日
(水)



11月21日
(水)



看護とは～一生のシゴト～

看護職とは、保健師助産師看護師法に基づく、保健師・助産師・看護師・准看護師のことをいいます。看護職の仕事は、科学的な知識や技術をもちいて、人々の健康を守り、豊かな生活が送れるよう支援をする大切な仕事です。人の心に触れ、寄り添い、力になる仕事であり、望めば“生涯の仕事”になります。看護職は免許に応じて、病院・診療所をはじめ、保健所・市町村保健センター、老人福祉施設、在宅療養の場など幅広い場所で活動していますが、中でも、病院で活動する看護職は、主に患者さんの療養上のお世話（体を清潔に保ったり、食事や排せつの介助をするなど）と診療の補助業務（医師の指示のもとに薬剤投与をしたり検査の介助を行うなど）を行っています。

当院看護部は、対象となる人々の「安全・安楽・自立」を念頭において看護を提供することを理念としています。あらゆる対象、あらゆる場面において、まず対象の「安全・安楽・自立」の視点を見落とすことなく、看護の基本として実践することを明示しています。この理念を実践するには、看護者の「安全・安楽・自立（自律）」も守られていなければいけません。医療事故を防ぐシステムの構築や職員の健康を守る労務管理、専門職として自律できる教育的環境などしっかり整えることが大切です。

看護の仕事は「一生のシゴト」として、自信と誇りをもって働き続けることができる病院（看護部）でありたいと考えています。



これからの看護の担い手を育てる ～臨地実習指導について～

日本看護協会は2025年に向けた看護の将来ビジョンにおいて「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」を掲げています。その中でこれからの看護専門職の育成に必要なこととして、看護基礎教育からの連続性、看護実践能力の育成強化、専門職として自律することが重要であるとしています。看護実践能力の習得には実習での体験が密に関連していると言われ、看護職の養成において臨地実習は、実践の中に学生が身を置き、看護職者の立場でケアを行うことに意義があるといえます。

当院では現在、4つの大学、2つの専門学校の看護学実習を引き受けており、1年を通してどの時期にも看護学生が臨地実習を行っています。学生は実習中に一人の受け持ち患者さんを通じて、看護の方法について「知る」「わかる」段階から、「使う」「実践できる」段階への学習を行います。学生は受け持ち患者さんに対して看護行為を行い、患者さんはお一人お一人違うことや、経過と共に変化することなど、机上では学べない貴重な体験を通して学ぶことができます。このような経験（学習）がこれからの世代を担う看護職の育成において、看護実践能力と同時に人間性に関わる資質の育成につながります。

日本は少子高齢化が進み、看護師の需要と役割に大きな影響を与えています。少子化により看護学生の確保が困難な状況が発生しており、高い離職率と併せて、慢性的な人材不足となっています。看護職確保の観点から、また、看護職育成には臨地実習で学ぶことの意義が大きいことをご理解いただき、臨地実習に対しご協力をお願いいたします。



看護学生インターンシップ開催のご案内

江南厚生病院では、インターンシップを通し職場環境を知る機会を提供しています。

普段の実習では体験できない看護師の仕事を体験することや、病院スタッフとふれあい自身のキャリアプランを考えるきっかけになればと考えています。



2019春 江南厚生病院インターンシップ 2月18日(月)～4月5日(金)

☆参加希望日の1週間前までにお申し込みください☆
お問い合わせ先 看護管理室
TEL:(0587)51-3332(直通) 平日9:30～16:00
FAX:(0587)51-3300
e-mail:kango@konan.jaaikosei.or.jp

看護師・助産師 募集

< 看護部病院説明会 開催予定 >
2020年4月採用の看護職員を募集します

3月16日(土)
4月6日(土)
4月13日(土)
4月20日(土)
4月27日(土)



9:00～12:00(開場8:30) 江南厚生病院2階講堂にて

病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学など

参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。

☆選考会予定5月25日(土)・6月1日(土)・7月20日(土)☆

平成30年度 仲間やがんに関するスタッフと不安や悩みを語り合いませんか? がんサロン「にじの会」のご案内

- 対象 がんを患っている患者さん
あるいは、そのご家族
- 内容 10:00～10:30 プチ講座(2か月毎に内容を変更します)
10:30～11:30 参加者同士の交流会
- 日程とプチ講座のテーマ

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
1/15(火)	がんと診断されたら…	がん性疼痛看護認定看護師
2/2(土)、 3/5(火)	がんの治療と仕事について ～がんとともに働くこと～	ソーシャルワーカー

- 場所 外来2階 多目的室 ※外来用エレベーター前
- 参加方法 自由参加

<お問い合わせ先> 患者相談支援センター(がん相談)
TEL(0587)51-3346 FAX(0587)51-3317
E-メール:gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費
無料

2018 公開医療福祉講座

- 場所: 江南厚生病院2階 講堂
- 時間: 13:30～14:30
- 日程と内容

1月24日(木)	腎臓内科部長 平松 武幸
知っているか? 腎臓の役割と病気のはなし	
2月26日(火)	患者相談支援センター 課長 外山 弘幸
アドバンスケア プランニングとは? 人生の最終段階の心構え	

お問い合わせは…江南厚生病院
「患者相談支援センター」堀田・梶原 まで
TEL(0587)51-3310

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間のご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないよう談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2019年(平成31年)診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

発行日/平成31年1月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300